

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（平成30年度～令和4年度）
研究開発課題名	結晶スポンジ法を活用する超速天然物ライブラリ構築と活性スクリーニング
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	佐藤 宗太

総合評価：大変優れている

【評価コメント】

結晶化を必要としないX線結晶構造解析手法である結晶スポンジ法による微量サンプルからの迅速な構造決定を目指し、実施例を着実に積み上げた。従来法では解析不可能な分子構造・分子量領域への適用可能性を示し、さらに、天然物の合成経路の改変による新たな化合物の創出方法も見出している。多くの企業との充実した連携がなされた点も評価できる。

ただし、特許出願に資する新規活性化合物が得られていない点は惜まれる。本研究は概念検証の段階であることから、今後は企業が参画する社会連携講座「統合分子構造解析講座」での活動を含め、構造同定手法の汎用化や新薬開発貢献に向けてさらに研究を発展させ、社会実装につなげることを望む。

以上